

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	海事法Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0202			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	商船学科			対象学年	5	
開設期	後期			週時間数	2	
教科書/教材	各教員による配布資料など					
担当教員	中谷 俊彦,西井 典子,金山 恵美					
到達目標						
船舶職員として海にかかわる事象を法的側面からとらえる能力を習得する。また一般的な政治経済知識も学ぶ。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
海に係る法制度		船舶職員として知っておくべき海事法全般を習得できる。		船舶職員として知っておくべき海事法全般を概ね習得できる。		船舶職員として知っておくべき海事法全般を習得できない。
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	海事に係るトピックスについて法的側面を交えながら講義を行う。授業当初に一般的な政治経済知識も学ぶ。					
授業の進め方・方法	商船学科の教員が持ち回りで、海事技術者が知り得ておくべきテーマに関する講義を行う。 授業内容と方法は各教員の指示による。					
注意点	各教員の授業分担によっては、順番が変更になることがある。 評価は、定期試験のほか、各教員の課題・レポートに負う場合がある。各教員の担当部分で1 0 0点法の評価を行い、最終評価はその平均値とする。第1回から第5回までの内容については、第5回目での演習によって評価を行う。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 国家、主権について	授業方針、概要を理解する。 国家の三要素や領土/領海/領空を理解する。特に国連海洋条法条約での海域を理解する。		
		2週	憲法について 三権分立について	憲法の三大原則を理解する。 立法/行政/司法の仕組みを再確認する。		
		3週	舶用品の型式承認について	型式承認の概念を理解する。		
		4週	型式承認及び検定を経て行われる検査について	プロトタイプに対する型式承認試験、量産品に対する検定および合格品について理解する。		
		5週	型式承認及び検定を経て行われる検査について 演習 1	プロトタイプに対する型式承認試験、量産品に対する検定および合格品について理解する。 第1回から第5回までの内容について演習を行い、理解度を確認する。		
		6週	海の利用と管理	港湾の役割と機能、港湾の種類、港湾管理について理解する		
		7週	海の利用と管理	港湾政策の変遷、国家海洋政策の概要を理解する		
		8週	海の利用と管理	海域利用における現状と新たな問題について理解する		
	4thQ	9週	富山県の海域利用と環境	富山湾と環境、地元の海域利用と政策について理解する		
		10週	富山県の海域利用と環境	富山湾と環境、地元の海域利用と政策について理解する 第6回から第10回までの内容について理解度を確認する課題および演習を行う。		
		11週	船舶設備規定	船舶に搭載された設備の法的根拠		
		12週	船舶救命設備規定、船舶消防設備規定	救命設備の概要、消火設備の概要		
		13週	船員労働安全衛生規則	船内作業の安全確保		
		14週	航海用具の基準・偽装数	船舶検査物品、艀装数の根拠と理解		
		15週	期末試験	期末試験		
		16週	答案返却、解説、授業アンケート	答案返却、解説、授業アンケート		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	商船系分野 (航海)	海事法規	法目的及び日本船舶の要件を説明できる。	4	後2,後3,後4
				船長の職務権限・規律などの法目的を説明できる。	4	後5,後9
				他の労働法との関係を説明できる。	4	後5,後9
				法の目的を理解し、船舶の堪航性について説明できる。	4	後1,後6,後7,後8,後10
				法整備の歴史的背景を総合的に説明できる。	4	後1,後6,後7,後8,後10
				法の要求項目などについて説明できる。	4	後11,後12,後13
				法整備の歴史的背景を総合的に説明できる。	4	後11,後12,後13

				法整備の歴史的背景を説明できる。	4	後3,後4,後11,後12,後13
				海難の定義について説明できる。	4	後11
				検疫及び検疫感染症について説明できる。	4	後11,後12,後13
				輸入税の目的や輸出入・開港などの定義について説明できる。	4	後11,後12,後13

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	10	0	0	0	0	0	10
専門的能力	60	0	0	0	30	0	90
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0